

府中市立南町小学校 令和5年度校内研究の柱

校内授業研究

第一回 校内研究授業 ～高学年分科会～

高学年 目指す児童像

「様々な運動感覚を味わうことにより、運動の楽しさに気づき、日常的に体を動かす児童」

6月21日（水）に高学年（6年生）による校内研究授業を行いました。高学年分科会では、「すすんで運動する」児童を育成するために、感覚づくりの運動に力を入れ、楽しい、やってみたいと思える感覚づくりの運動を授業で実践しました。「いろいろな動きカード」の導入により、子供たちは授業前だけでなく、休み時間や家庭でも取り組む姿が見られました。多くの児童が楽しみながら様々な運動感覚を経験することができていました。

「いろいろな動きカード」を用いた、
感覚づくりの運動を行っている様子。



一人一台のタブレット端末を用いて、
自分の動きを客観的に見ている様子。

自分の課題達成に向けて、必要な
場を選び練習している様子。



第二回 校内研究授業 ～低学年分科会～

低学年 目指す児童像

「すすんで体を動かし、決まりを守って友達と楽しく運動できる児童」

9月13日（水）に低学年（2年生）による校内研究授業を行いました。低学年では、仲間と関わりながら学ぶための手立てとして、感覚づくりの運動の際に口伴奏を実践しました。口伴奏を取り入れたことで、仲間の声に励まされ様々な動きに挑戦しながらできる楽しさに触れることができました。

本単元では、1 単位時間の学習の流れの確立をしたことで児童自身が「次何をするのか」「何の活動なのか」児童が見通しをもち、場や用具、運動の準備に素早く取り組めるなど、授業のマネジメントが円滑に行うことができました。また、毎時間、友達と関わりながら取り組む感覚づくりの運動を入れたことで、声を掛け合ったり、ハイタッチをしたりと友達と一緒に取り組むことの楽しさを感じることができました。



「ピョーン」と友達が口伴奏しながら感覚づくりの運動をしている様子。

ゴム紐を用いてジグザグコースで遊びの工夫をしている様子。



第三回 校内研究授業 ～仲よし分科会～

仲よし分科会 目指す児童像

「体を動かすことに興味をもち、きまりを守って楽しく運動できる児童」

9月27日(水)に仲よし分科会による校内研究授業を行いました。単元を通して感覚づくりの運動に重点を置き「仲よしエクササイズ」「パワーアップタイム」「パワーマックスタイム」を設定したことにより、様々な動きに触れ、獲得することができました。単元の初めにグループ編成を組み直し、各グループで学習ボードを用意したことで、自分のめあてを確認したり、自分の活動を振り返ったりしやすくなり、個別最適化を図ることができました。また、活動ごとに音楽を変えたため、何をする時間なのかが分かりやすくなり、特に準備運動、場の準備や片付け、整理運動ではタイムマネジメント的にも効果的でした。



元氣よく
仲よしエクササイズ!



みんなで協力して
道具の準備

学習ボードの活用



目印を見ながら
感覚づくり

第四回 校内研究授業 ～中学年分科会～

中学年分科会 目指す児童像

「すすんで体を動かし、できる喜びを味わい、自らの体力を高めようとする児童」

10月20日（金）に中学年（4年生）による校内研究授業を行いました。本単元では、1単位時間の流れの中でチャレンジタイムを2回設定しました。チャレンジタイム1では自己の課題を見いだす時間、チャレンジタイム2では自己の課題に合った場や同質グループによる関わり合いを通して課題解決を図る時間とし、それぞれの活動の目的を明確にして学習を展開しました。また、学習資料・ICTの活用として「(技のポイントの中で)できたこと」をチェックするための技カードを作成し、それぞれの技のポイントと照らし合わせ、自分の動きがどれだけできているかを確認できるようにしました。そしてよりよい動きに近付けるために、手本となる動画を舞台上のスクリーンでループ再生し、いつでも見ることができるようになりました。



見る見るフープ(ケンステップ)を2か所に設置し、友達の様子をいろいろな角度から見て、アドバイスをし合います。



曲に合わせて感覚づくりの運動を行いました。